

第 121 回 火力専門委員会 構造分科会 議事録

- I. 日 時：2023 年 8 月 8 日（火）13 時 30 分～14 時 45 分
- II. 方 法：WEB 会議（Webex 使用）
- III. 出席者：飯田（JERA）、茂山（電中研）、西田（三菱重工長崎）、西野（配管技術研究協会）、
横山（川崎重工業）、小高（富士電機）、大熊（関西電力）、金城（沖縄電力）、栗本（JERA）、
関根（IHI）、井山（東芝 ESS）
- 代理者：藤田（マックスコーポレーション：合田委員代理）
- 欠席者：田村（三菱重工日立）
- 事務局：中村

IV. 資料（CS キャビネット 構造分科会会議資料登録）

- 121-1 第 120 回構造分科会議事録（案）
- 121-2 構造分科会委員名簿
- 121-3 第 104 回火力専門委員会議事録（案）
- 121-4 第 106 回規格委員会議事次第（案）
- 121-5 第 I 章総則 火専書面投票提案資料及び新旧対比表

V. 議題

1. 前回議事録確認 【資料 121-1】
前回議事録（案）の確認を行ない、議事録案は承認された。
2. 分科会委員・役員の承認 【資料 121-2】
以下の委員の再任案件が報告され、再任候補として次回火力専門委員会に推薦することが出席委員全員の賛成により承認された。
 - ・飯田委員、西田委員、大熊委員、金城委員、栗本委員
3. 報告事項 【資料 121-3】
 - (1)火力専門委員会報告
6月2日開催の第 104 回火力専門委員会の主要項目が報告された。
 - 火力専門委員会委員の承認（再任）松田氏（HSB ジャパン）
 - 材料分科会委員の承認（新任）柴田氏（北海道電力）
（再任）西川氏（国立研究開発法人）
 - 溶接分科会委員の承認（再任）岩井氏（東芝エネルギーシステムズ）
 - 配管減肉分科会委員の承認（新任）藤関氏（三菱重工）
 - 審議事項
 - ・規格委投票 No.574（発電用火力設備規格 詳細規定第Ⅱ章材料 改訂案（ASME Gr.9 系鋼改訂取入等）の規格委員会書面投票 No.523 の意見対応による修正案）において提示された「ASME 材と国内材との許容応力に差が生じる改訂案に対して賛成できない」旨の意見対応に対して、材料分科会内部での審議を踏まえ取り下げを行うこととした。

- 材料専門委員会の J 火 SUS304J1HTB 評価結果への対応として、材料専門委員会の報告（3/9）結果において同じ材料仕様の海外材と国内材の許容応力値に差があり、現状では国内材のみを許容引張応力表に取り込む合理的な説明ができないため、材料仕様（化学成分、熱処理温度など）により許容応力を規定する案の検討いただくことを材料専門委員会に依頼することとした。
- 発電用火力設備規格 詳細規定第Ⅳ章圧力容器 改訂案の書面投票実施について、書面投票開始の提案が行われ、賛成多数で承認された。また、次回改定時は、Ⅳ章の内容のうちⅢ章と同じ内容の箇所は省略（Ⅲ章参照）するなど改訂作業の効率化を図った方がよいとの意見があった。

(2) 規格委員会報告

【資料 121-4】

6 月 20 日開催の第 106 回発電用設備規格委員会の議事のうち、火力関連事項に関して報告された。

- 火力専門委員会の審議事項なし
- 火力専門委員会報告
- 詳細規定第Ⅳ章圧力容器 改訂案の書面投票実施について、書面投票開始の提案

4. 審議事項

第Ⅰ章 総則

【資料 121-5】

(1) 書面投票の提案資料（提案書及び審議経緯）

- 内容確認を行い了承された

(2) 新旧対比表を用いた改定案

○本文

- 内容に変更なし

○補遺

【1. 本規格作成の経緯と目的】

- 前回改訂（2008年）以降の改訂履歴を追記
- 表現の修正 PW-1.2 → PW-1.2項

【3. 本規格第Ⅲ章～第Ⅶ章の適用について】

- 表現の修正 PG-58.3 → PG-58.3項

【4. 耐震構造規格について】

- 最新規格に記載修正 JESC T0001(2009) → JESC T0001(2019)

【6. 単位】

- ASMEのSI単位系採用にともなう記載追加
 - 管の呼び径についてJIS規格のA呼称をDNサイズと同等に扱えることを追記
- 規格委書面投票_No.476「第Ⅲ章ボイラの規格委員会書面投票No.427意見対応による修

- 正案」の承認（意見対応表No.4）の反映
- ・記載追加に伴う付番の変更

【7. 最高許容運転圧力】

- ・「7.4_設計圧力と最高許容運転圧力の関係」の項目を追加
→規格委書面投票_No.476「第Ⅲ章ボイラの規格委員会書面投票No.427意見対応による修正案」の承認（意見対応表No.25）の反映
- ・表現の修正 PG-21.2 → PG-21.2項、PG-21 → PG-21項、UG-98 → UG-98項
- ・記載追加に伴う付番の変更

【8.3 安全性確保のための本規格における対応】

- ・表現の修正 PG-99 → PG-99項、UG-99 → UG-99項、137.4.5 → 137.4.5項

【9. 本規格の民間製品認証制度への適用について】

- ・「民間製品認証制度」の適用範囲を「溶接部」のみに対応する表現に変更
→規格委書面投票_No.509「第Ⅴ章_配管の規格委員会書面投票No.477 の意見対応による修正案」の承認（意見対応表No.43）の反映

5. その他

主査より、対面による構造分科会の開催（来年5月）が提案された。

6. 次回開催予定

開催日時： 2023 年 11 月 7 日（火） 13 時 30 分～17 時

開催方法： WEB 会議（Webex）による

以 上